

学習内容報告書 フォーマット

学校名	只見町立朝日小学校
授業者	加藤 英子

1. 単元計画

1-1. 単元名

只見町でさかんな農産物を調べよう

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

5学年の総合的な学習のテーマは「只見の食と農作物」である。

本単元は、只見町でさかんな農作物を調べていく活動を通して、その良さやすばらしさ、携わる人々の思いを実感するとともに、地球規模で起きている気候変動が自分たちの住むこの只見町にも影響を与えていることに気付くことができる単元である。田植え等、体験活動を行いながら、只見町で有名な特産物である、米・トマト・イワナ・養蜂について調べていく。只見の気候や、第4学年で学習した豊かな水のおかげで産業を営んでいることに気付いたり、人の温かさや、物作りに対する思いを肌で感じたりすることができると思われる。また、それぞれの産業を営む人たちが困っていることに着目することで、多面的・総合的に考えを広げることができる。さらに、そこから生まれた自分たちの考えを裏付ける理由を考える学習を設定していくことで、次の課題設定につなげることのできる単元である。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

○単元のねらい

自分たちが生活する只見町の農産物について、なぜその農産物がさかんなのか調べる活動を通して、地球規模の気象問題が只見町にも影響を与えていることに気付くことができる。

○単元設定の理由

(1) 児童観

総合的な学習の時間は、男子3名、女子2名、特別支援学級の男子1名の計6名で学習を行っている。4年生では、「ユネスコパーク、水を探れ、守れ!」をテーマに、水質という視点で只見の水を見つめ直してきた。只見の山から湧き出る栄養豊富な水が、川や海に住む生き物に良い影響を与えていること、只見の自然を守ることは海を守ることにもつながるということに気づき、そのことにより只見の自然を守っていこうという意識が育ちつつある。

昨年度は、児童が楽しみにしている学校行事の一つであるスキー教室・スキー大会・雪像作りが雪不足のため中止になった。児童は、楽しみにしていた行事がなかったことで、降雪量が少なくなってきて

いるということを理解しているものの、それが地球規模の気候変動と関連しているという意識はまだ持っていない。

(2) 指導観

本単元では、只見町の産業（農作物）に携わる人たちの知恵や思いを実感し、地域の人たちの物作りに対する思いに気付けるように、児童に直接取材を行わせる。また、共通課題として田植え体験や米について調べまとめたことを発表する際に、話し手は聞き手を巻き込むような発表の仕方を意識して行うことを通して、選択課題においても一方的ではなく、双方向の発表会にしたい。

また、グループ活動を行わせることで、友だちと協力しながら進んで課題解決に取り組む態度を養っていききたい。


本時では、各グループで調べてきた只見町でさかんな〇〇について発表したり、聞いたりする活動を通して、共通点を見つけさせたい。そのために、発表は一方的にならないように、発表者が聞き手に質問したり、聞き手が発表者に質問したりしながら行わせるために、友だちが調べた農産物がなぜ只見町でさかんなのかと一つことについて、家庭学習などにおいて事前に調べたり、疑問点を整理させたりしておく。さらに、共通点を見つける時には、KJ法を用いて自分達で共通点を見つけ分類することで、自分たちの住んでいる只見町の良さを再認識するだけでなく、気候変動の問題が起きているということにも気付かせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

〈イノベーション力〉

KJ法を用いて自分達で共通点を分類させ、只見町の良さを再確認したり、只見町で問題が起きていたりすることに気付かせることで、イノベーション力を育てたい。また、町の産業に興味をもち、良さや問題を自事ととらえ、主体的に取り組む態度を育成したい。

1-7. 単元の展開（全25時間）

段階	時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
課題設定 1	1 2	○ 4年生までの学習を想起し、只見町では、自然の豊かさを生かし、どのような産業を行い生活しているかを話し合う。(1) ○ 学習計画を立てる。(1)	只見町でさかんな農作物について、話し合うことができる。 問いを解決できるように、調べ学習の計画を立てることができる。〈問題を発見する力〉
課題追究 1	3 ~ 22	○ 調べたい産物ごとにグループに分かれ、なぜ只見町でその産物が盛んに生産されているのかを調べる。  ・共通課題	社会の教科書や資料集から、適切な資料を取捨選択しまとめることができる。 インターネットの情報や、地域の方に取材す

	<p>米について調べまとめる。 (9)</p> <p>田植えを体験する (3)</p> <p>田植え新聞をかく (1)</p> <p>発表の練習をする (1)</p> <p>発表する (1)</p> <p>・グループ課題 〇〇について調べまとめる (4)</p>  <p>発表の練習をする (1)</p>	<p>る活動を通して、課題を解決し、分かったことをまとめることができる。</p> <p>〈言語スキル〉</p> <p>友だちと協力しながら課題を解決することができる。</p> <p>課題解決のために、地域の人に知りたいことを聞くことができる。</p> <p>〈コミュニケーション力〉</p>  <p>学習内容に興味を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。</p>
<p>ま と め ・ ふ り か え り</p> <p>23 24 25</p>	<p>○ 調べたことをまとめよう。</p> <p>・調べたことを発表しよう。 (本時)</p> <p>・出てきた答えを確かなものにする資料を集める。 (1)</p> <p>・異常気象が起きている原因について考える。 (1)</p> 	<p>それぞれが調べた農作物を育てている人が抱える問題の共通点に気付くことができる。</p> <p>〈イノベーション力〉</p> <p>出てきた課題に対し、自分なりの考えを持つことができる。 〈コミュニケーション力〉</p> <p>只見町の問題が地球規模の問題であることに気付くことができる。 〈問題を発見する力〉</p>

2. 学習活動の実際



2-1. 単元における位置づけ

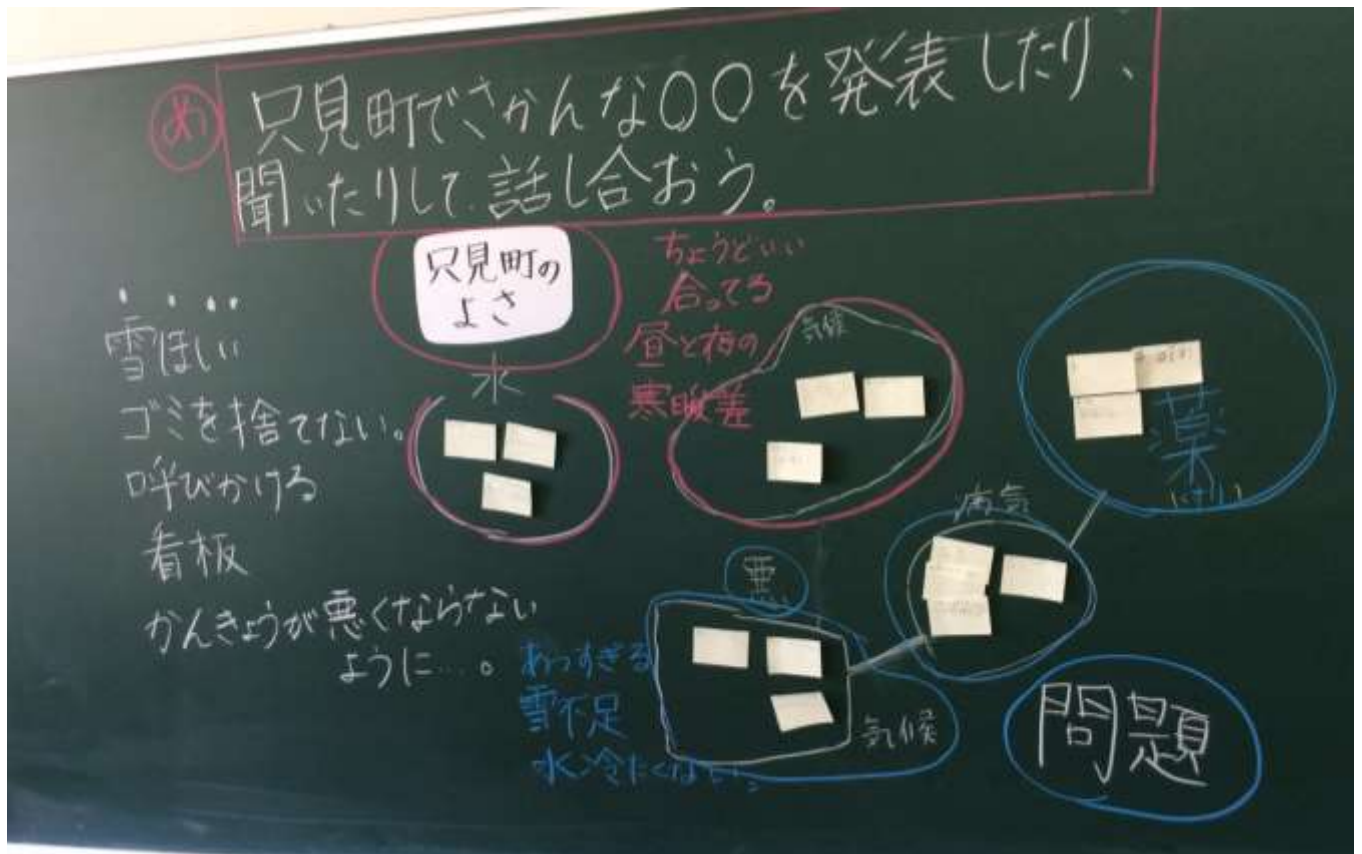
単元 2 5 時間中の 2 3 時間目

2-2. 本時の目標

自分たちで調べたことを発表したり、聞いたりする活動を通して、それらが抱える共通の問題に気付くことができる。
(思考・判断・表現) <イノベーション力>

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) 米について調べたことや、農家の方が最近不安に感じていることについて振り返る。</p> <p>(2) めあてを確認する。</p> <p>2 グループで調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト ・イワナ ・養蜂  <p>3 共通点を見つけ話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・只見の自然が豊かである。 ・栄養のあるきれいな水が農産物により影響を与えている。 ・危機感を持っている。 ・水不足になるのではないか。  <p>4 次時の学習活動の見通しを持つ。</p>	<p>○ どうして只見町では米がさかんなのか。また、農家の人が最近気になっていることについて、児童がまとめた資料をもとに振り返る。</p> <p>※ 一方的な発表会にならなうようにするために、質問したり、問いかけたりしながら交流できるように発表する人、聞く人のポイントを確認する。</p> <p>○ なぜそれらの農産物が只見でさかんなのか、児童の言葉でまとめさせる。</p> <p>○ それぞれの人が最近只見町で起きている異常気象に危機感を持っていることに気づかせるために、資料を並べ児童が自由に資料を見たり、話したりできるように、黒板の前に集めて話し合いを行う。</p> <p>※ KJ法を用いて自分達で共通点を分類させることで、只見町の良さを再確認したり、只見町で問題が起きていたりすることに気付かせる。</p> <p>◇ 共通の問題に気づくことができたか。(発言) (イノベーション力)</p> <p>○ 児童が見つけた問題点は、本当に只見町で起きている問題なのか問いかけ、次時への学習へとつなげる。</p>



3. 今回の活動の自己評価

- 体験から得た知識であったこともあり、児童同士で質問・問いかけが自然にできていた。
- 児童は、KJ法で上手に分類できていた。気候のことについても、良い影響と、悪い影響があることに気付いていた。
- 調べたことの発表会の場面では、双方向の発表ができていた。
- 共通点を分類する場面では、児童間でスムーズに分類できていた。

4. 今後の課題

- 自分の調べたことをそのまま発表した児童がいたので、調べた中から、内容に合わせて発表の重点を決める力を育てていく必要がある。
- 児童の発問を拾って話し合いが進められると、思考が深まったのではないか。気候が良い影響だけでなく悪い影響を与えていることに気付いていた児童がいたのでそのことについて問い返し考えさせる活動を取り入れたかった。
- 児童から「地域温暖化」という言葉が出てきていたので、その言葉を次時の問いにつなげる手立てが必要であった。→例「これって、只見町だけの問題なのかな・・・？」

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 児童が、只見町に起きている異常気象の問題を自分事としてとらえ、次の学習につなげられるように、地域の人との関わりを大切にして学習を進めてきたこと。